

レポート・論文の書き方について

① レポート・論文とは何か

千葉商科大学附属図書館
Ver.1.4 (2024年4月)

■ レポート・論文の目的

客観的事実を根拠にして

↓
自分の意見の主張を行い

↓
読み手を説得し納得させること

客観的事実に基づいているため
他の人と検討・討議ができる

・資料・文献調査の結果
・実験結果のデータ など

感想文との違い

「感想文」は
感想 = 自分の思ったこと（主観）を
読み手に説明する

主観に基づいているため
他の人と検討・討議ができない

参考：初年次教育テキスト編集委員会『フレッシュマンセミナーテキスト』東京電機大学出版局,2014

■ レポートに必要なもの

▶ 根拠となる客観的な事実

- ・信頼性の高い情報（出典・出どころが明確で、偏っていないもの）
「価値のある情報は基本的には有料である」という常識をもち、
専門的知識を持ち、情報に責任を持っている発信者を知ろう。
- ・読み手がその事実（情報）を調べたときに、同じ情報を得られるもの
引用・参考情報を正しく表記しよう。
情報が更新される可能性のあるメディア（Webページなど）の場合は、閲覧した年月日も表記するのが一般的。

新聞や雑誌の出版社などが提供するデータベースで
Web上で情報を得ることができます。

▶ 自分の意見

- ・レポートや論文全体を通して伝えたいこと
- ・知識をまとめて考えた自分なりのアイデア
レポート・論文全体で主張が一貫していないと何も伝わらない。
情報を自分なりに分析して意見を主張しよう。
同じ情報（客観的な事実）に基づいていても、人それぞれの視点や解釈があるため
全く同じ内容のレポートはあり得ない。

▶ 読み手にわかりやすく書く（まとめる）技術

- ・主張と根拠が合理的につながるよう論理的に説明する
- ・自分の思考の流れを順序だてて書く
- ・図表や写真などを適切に使用する
- ・「人に読んでもらえる」レベルまでの文章の整理
(表記の統一、わかりにくい用語の注釈や定義、誤字脱字のチェックなど)

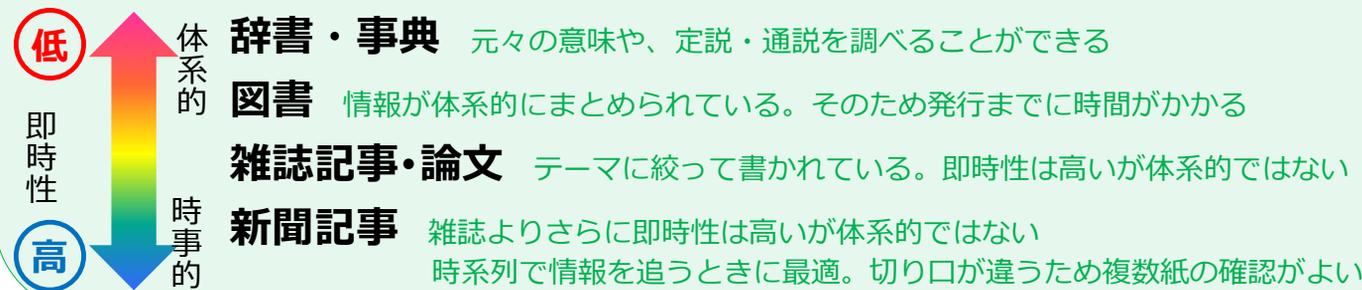
レポート・論文の書き方について書かれた電子書籍を
自宅からWeb上で読むことができます。

レポート・論文の書き方について

② 根拠となる情報の集め方

千葉商科大学附属図書館
Ver.1.4 (2024年4月)

レポート・論文の根拠にできる“信頼性”の高い資料



※ リモート の表示があるものはリモートアクセス (RemoteXs) を利用できます。
詳しくはこちら。

辞書・事典／図書

■ 電子書籍 (Maruzen eBook Library)

リモート

▶ <https://elib.maruzen.co.jp/>

丸善雄松堂が提供する電子書籍サービスです。

雑誌記事／新聞記事

アクセスはこちら ▶ <https://www.lib.cuc.ac.jp/search/database>

■ 日経BP記事検索サービス

リモート

雑誌記事・論文(本文あり)

日経BP社発行の雑誌記事を検索してテキスト版またはPDF版で読むことができます。

■ 東洋経済 デジタルコンテンツ・ライブラリー

雑誌記事・論文(本文あり)

リモート

東洋経済新報社の雑誌記事を検索してテキスト版またはPDF版で読むことができます。

■ 日経テレコン

リモート

新聞・総合

日本経済新聞社の記事を検索してテキスト版またはPDF版で読むことができます。

■ 朝日新聞クロスサーチ

リモート

新聞・総合

朝日新聞の記事検索サービスです。テキスト版またはPDF版で読むことができます。

■ ヨミダス

リモート

新聞・総合

読売新聞の記事検索サービスです。テキスト版またはPDF版で読むことができます。

レポート・論文の書き方について

③レポート・論文のルール

千葉商科大学附属図書館
Ver.1.4 (2024年4月)

※ リモート の表示があるものはリモートアクセス (RemoteXs) を利用できます。
詳しくは[こちら](#)。

基本が学べる電子書籍

■ 電子書籍

リモート

電子書籍を閲覧するには

学内から

書影をクリックするとOPACの検索結果へ進みます。検索結果に表示されるURL  をクリックすると閲覧できます。

学外から

RemoteXsのデータベース一覧から「Maruzen eBook Library」へ進み、本のタイトルで検索してください。

その他の電子書籍を探すには…

図書館webサイトの[OPAC \(詳細検索\)](#)で「資料区分」の「電子書籍」にチェックを入れて検索してください。



論文・レポートを書く

■ 日経BP記事検索サービス

リモート



ヘッダーメニューの「論文・レポートを書く」では、記事の引用方法や、WordやExcelといったOfficeの使い方など、レポート・論文作成に活用できる情報を掲載しています。

■ ライティングサポートセンター (WSC)

図書館で文章作成をサポートする相談窓口です。詳しくは[こちら](#)をご覧ください。